

企業紹介の見方

この企業紹介冊子には、各ページの右側に、企業のビジネス内容やビジネスの拠点、従業員数などの「企業プロフィール」（企業データ）と、募集する仕事、勤務場所、入社時の給料、勤務時間や休暇の条件など、働くうえでの条件や待遇が書かれています。

みがいてきた自分のスキルが活かせる仕事があるかどうか、自分にとって働きやすい条件かどうか、確認してください。

また、各ページの左側は、各企業のPRスペースになっています。

企業がみなさんに提供できる仕事内容、これから力を入れていくビジネス内容、他社よりも優れているポイント、求める人材などについて書かれています。

ブースでの説明内容と併せて、「なぜ人材を採用しようとしているのか」「その会社の強さの秘密はどこにあるのか」「どのような仕事を担当することになるのか」をつかむ材料にしてください。

わからない点・わからない言葉は、企業の担当者や、当日会場にいる運営スタッフに遠慮なくたずねてください。

○△□テクノロジー <http://www.○△□.co.jp/>

<p>【業界内での強み】 お使いの携帯電話に付属しているメモリーカードや高画素のデジタルカメラ。今後は、それらを開発する側に回ってみませんか？ 弊社は、半導体メモリーやイメージセンサー分野で、常に業界を切り開く製品を生み出していき高い技術力とコスト競争力、また圧倒的なシェアを誇ります。世界各拠点のエンジニア達と、メールや電話会議、駐在派遣などを通じて、日々技術情報を受発信しながら、最先端の製品を開発していただくフィールドを提供できます。</p> <p>【特に注力していく事業分野や成長戦略】 ①NANDフラッシュメモリー事業 みなさんが利用されている携帯音楽プレーヤーやデジタルムービー製品に搭載され、さらに成長が見込まれるNANDフラッシュメモリー。同製品のリーディングカンパニーとして、中国とシンガポールに新たに開発・生産拠点を建設中です。若手エンジニアの方々にも、新拠点立ち上げに参加していただきます。（語学力を磨いておいてください！） 2009年には、同製品で世界シェア25%を目標にしています。</p> <p>②CMOSイメージセンサー事業 お使いの携帯電話に搭載されているカメラは、CCDカメラですか？それともCMOSイメージセンサーですか？ハイビジョンムービーにも搭載され始めたCMOSイメージセンサーは、CCDをしのぐ勢いで成長を続けています。同製品の世界シェアNo.1企業として、さらに成長が見込まれる携帯カメラ市場、セキュリティ市場、車載カメラ市場などへ今後も新製品を投入し、さらにシェアを伸ばしていきます。</p> <p>【本日の企業セミナーのポイント！】 まず、弊社の強さを、「技術力」「財務力」「人材力」の三つの観点から、具体的なデータと事例をもとに説明させていただきます。台湾や韓国企業が優勢の中、なぜ弊社が成長を続けられるのか、その秘密と弊社の成長戦略をご確認ください。最後に、みなさんに活躍いただく業務の内容とおもしろさ、求める資質について説明させていただきます。弊社での活躍フィールドが、みなさんのキャリアイメージを実現する場所になりうるかどうか、ぜひご確認ください。1回30分程度の説明を予定しています。電気電子系専攻の方々だけでなく、理学・化学・情報通信専攻の方も、是非ブースにお立ち寄りください。</p>	<p>【企業データ】</p> <p>事業内容 情報・通信システム、デジタルメディア、電機・産業システム、昇降機、自動車機器などの開発、製造・販売、ソリューション提供、及びこれに関するコンサルティング 創業 1910年、設立 1920年 本社：東京、事業グループ：6、事業部：33、支社：10、代表取締役社長 ○○○○ 500億円 ¥2兆2479億円（2008年3月期：連結） （11兆4648億円（2007年3月期：連結）） 55,444名（2008年3月末日現在：連結）</p> <p>【採用データ】</p> <p>募集予定職種 営業システムエンジニア、経理財務、資材調達、人事総務、生産管理、知的財産権管理、設計開発、研究開発、生産技術、品質保証など 初任給 大学学部卒 203,500円 *2008年度実績 大学修士了 226,000円 勤務地 本社、事業グループ・事業部、支社、研究所などの全国各事業所および海外関連会社など 勤務時間 実働7時間45分 *フレックスタイム制度あり 福利厚生 各種社会保険、財形貯蓄制度、年金制度、独身寮・社宅完備、総合病院、カフェテリアプラン制度ほか 休日休暇 完全週休2日制、年次有給休暇、年末年始休暇、リフレッシュ休暇、配偶者出産休暇、家族看護休暇など 採用連絡先 人事部 採用グループ 〒100-8280 東京都大田区蒲田1-6-6 TEL: 03-2090-1234 URL: http://www.○△□.co.jp/recruit/ E-mail: recruit@○△□.co.jp</p>
---	--

【企業からのPR欄】

- ・特に力を入れていくビジネス内容
- ・他社よりも優れているポイント
- ・求める人材のイメージ

などが書かれています。

ブースでの説明内容と併せて、「なぜ人材を採用しようとしているのか」「その会社の強さの秘密はどこにあるのか」「どのような仕事を担当することになるのか」をつかむ材料にしてください。

【企業の自己紹介欄】

ビジネス内容、設立された年、会社や工場のある場所、働いている従業員の数など、会社の基本的な

データが書かれています。

会社のイメージを早く理解できます。

【採用条件欄】

募集予定の仕事内容、入社時の給料の水準、仕事をする可能性のある地域、働く時間や休暇の条件など、会社で働くうえでの基本的な条件が書かれています。

自分の希望条件に合った働き方ができるかどうか、確認してください。

企業ブースの回り方のKey Points

- ① 各企業の1回の説明は、約30分です。できるだけたくさんの企業を訪問してみましょう。
- ② 自分の専攻内容と直接関係がなさそうな企業、企業名を知らない企業も訪問してみましょう
- ③ 訪問した企業ブースでは、「訪問カード」を提出しましょう。
- ④ 企業からの説明では、必ず次のポイントをつかみましょう。
 - ・その企業は、なぜ自分たちを採用したいのか
 - ・その企業の強さの秘密（技術・ビジネスモデル）はどこにあるのか
 - ・どのような仕事を担当することになるのか

①②：できるだけたくさんの企業を訪問してみましょう

参加する企業のうち、メーカーは、生産施設（工場）を持っています。工場での生産活動は、生産設備と生産システムによって行われています。つまり、どんな業界の工場でも、必ず、「機械系・プラント系エンジニア」「電気系エンジニア」「システム系エンジニア」が必要であり、募集しています。

また、通信業界の企業であっても、通信やシステム系のエンジニアだけでなく、機器・ハードウェアを担当するエンジニアが必要であり、募集しています。

学生みなさんは、企業の事業内容が、自分の専攻内容と関連のある企業ばかりを訪問しがちですが、専攻内容と関連の薄い業界の企業であっても、自分の専攻を活かせるケースがたくさんあります。

ですから、専攻内容とは直接関係がなさそうな企業、初めて名前を聞く企業も含めて、できるだけたくさんの企業を訪問して、自分が役に立てそうな仕事を見つけてください。

③：訪問した企業ブースでは、訪問カードを提出しましょう

企業ブースを訪問した際には、個人の氏名・連絡先を記入した「訪問カード」を提出しましょう。

記入している連絡先に、企業から採用選考情報などを送っていただけます。

訪問カードは、できるだけ大きな字で、はっきりと記入してください。

④：企業からの説明では、キーになる情報を必ずつかみましょう

企業からの説明では、必ず次のポイントをつかむようにしましょう

「その企業は、なぜ自分たちを採用したいのか」:

人材の採用は、各企業のビジネスプランにもとづいて行われます。

つまり、みなさんを採用する理由を確かめることは、その企業の生き残り作戦そのものを確認することなのです。

自分たちを採用する理由を確認すること

= 自分たち（経営資源）をどのビジネス分野に投入しようとしているのか、確認すること

= 企業として特に力を入れていく事業分野と目標達成への作戦を確認すること

「その企業の強さの秘密（技術・ビジネスモデル）は、どこにあるのか」:

どの企業も、生き残っていくために、他社よりも優れた技術やサービス、また収益を生み出すしかけをみがき、それらをさらに伸ばそうとします。

お客様が、なぜその企業からモノやサービスを買っているのか、他社がマネできない「技術やサービス」はどこなのか、つかむようにしましょう。

「どのような仕事を担当することになるのか」:

みなさんは、会社に入ったあと、仕事を通して、自分の技術・スキルをさらにみがいていくことになり

ます。会社での待遇だけでなく、自分が取り組んでみたい仕事にチャレンジできるかどうか、なりたい自分に近づける仕事を担当できそうかどうか確認してください。

企業選択の Key Points

- ① 担当できる仕事で選ぶ
- ② 「ビジネス」や「人・組織力」が強い企業を選ぶ
- ③ 若くて成長中の企業を選ぶ

① 担当できる仕事で選ぶ

みなさんのゴールは、「会社に入ること」ではなく、ある仕事の「プロフェッショナル」になって、かけがえのない人材として、会社や社会に貢献していくことではないでしょうか。

日本の企業は、「総合職」や「一般職」として採用されることが多いため、会社に入った後に担当できる仕事や職種をあらかじめ確認しておくことはとても重要です。

会社の大きさや知名度、また給料などの待遇も気になるところですが、「チャレンジしたい仕事に取り組めるかどうか」、「自分のスキルを伸ばせる仕事に取り組みそうかどうか」という視点で企業を選ぶことを提案します。

入社後の会社生活が楽しくなるように、プロフェッショナルとして成長できるように、企業イメージ・企業規模ではなく、「取り組みたい仕事」で、企業を選んでみてはどうでしょうか。

② 「ビジネス」や「人・組織力」が強い企業を選ぶ

経営状態が不安定な企業では、なかなか落ちていてキャリアをみがくことが難しいのが実態です。

「ビジネスが強い企業」や「人・組織が強い企業」などを選択した場合、攻めの仕事の中で、自分のキャリアやスキルをみがくことができます。

(ビジネスが強い企業)

厳しい国際競争の中では、メインの事業分野・製品分野で、業界中位・下位の企業の場合、淘汰されていく可能性が高くなります。

日本を代表する有名な企業であっても、個々の事業分野の成績を見ると、大変苦戦しているケースが多くあります。

規模の大きな企業、有名な企業だけではなく、他社がマネできない技術やサービスにより、特定のビジネス分野でトップレベルのシェアを持っている企業、収益率の高いビジネスを持っている企業にも注目してください。

特に日本企業の中では、素材系の企業や部品メーカーに、国際的な競争力の強い企業が多いのが特徴です。

これらのビジネス分野は、研究開発から製品化までかなりの時間・ノウハウが必要なため、他社がマネしようと思っても難しい分野なのです。

また、IT業界や半導体業界のように、技術革新のスピードが速いビジネス分野は、ある新しいテクノロジーをきっかけに、業界シェアがいきなり逆転してしまう可能性があることも知っておいてください。

ひと そしき つよ きぎょう
(人・組織が強い企業)

強いビジネスを生み出す源泉は、働いている人材とそのチームの力です。

どのビジネスでも、ビジネスのスピードがとても速いので、年齢や性別、国籍にとらわれない、柔軟な人材の活用が求められます。

日本企業の場合は、これまで、女性や外国籍の人材の活用が遅れているという指摘をよく受けてきました。

大卒女性社員や、外国籍の社員、またハンディキャップを持った社員の比率を確認して、多様な人材が活躍している企業かどうか確認することをお勧めします。

① 若くて成長中の企業を選ぶ

事業成長に人員が追いつかない、組織がまだきっちり固まっていない・などの特徴がある社歴が浅い会社の場合、若くして重要な仕事を任せられる可能性が高いです。(任せざるを得ない状態にあるわけです。)

先輩や前例が少ない分、自分で考えて動かざるを得ないため、プレッシャーがかかるのですが、その分、数年でものすごく成長できます。

さらに、自分の成長と会社の成長が重なっていくため、自分が会社を支えている、という実感・満足感を得られるのも特徴です。経営の不安定さというリスクは当然あるわけですが、「やりがい」や「実力をつける」ことを重視される方には、特にお勧めします。

一方、ブランド重視、日々の安定を重視される方、ルールがきちんと決まっていないと落ち着かない方などは、合わないかもしれません。

また、歴史ある大企業の場合であっても、新規事業の立ち上げ等にたずさわると、同様のおもしろさを経験できることがあります。

以上(いじょう)